

2025 年 8 月 7 日

新築・リフォームの優秀な設計者を認定する社内制度において 『エキスパートデザイナー』を選出

パナソニック ホームズ株式会社は、2025 年 8 月 4 日、新築・リフォームの優秀な設計者を認定する社内制度において、2024 年度の『エキスパートデザイナー』4 名を選出しました。

『エキスパートデザイナー』の認定は、毎年度、新築・リフォーム部門において、一定要件を満たす設計担当者が所属部から推薦を受けて※¹、設計職能の専門的な研修を受講し、スキルアセスメントを経て正式認定される社内制度です。同認定は、優秀な設計人材の育成を目的として 2012 年度※² から続く制度で、今回で 13 年目を迎えます。



2024 年度 新築部門 エキスパートデザイナー設計事例
「心の調和をもたらす住まい」

近年、在宅時間の増加や働き方の多様化に伴い、生活様式や価値観が大きく変化する中、住まいに求められる間取りやデザインの志向も年々変化しています。特に間取り面では、玄関付近の手洗いスペースや在宅勤務に対応したワークスペースの設置など、時代のトレンドを反映したプランへのニーズが高く、機能面では「住宅のデザイン」が重視される傾向にあり※³、居住者の個性やライフスタイルを反映した空間づくりが求められています。住宅建築に対する価値観が変化する中、設計者には、優れたデザイン力に加え、お客さまの要望を的確に引き出すヒアリング力や、期待を超える提案力などのスキルが求められることになります。

設計知識の深さと培った技術を認定する精鋭の資格『エキスパートデザイナー』は、家づくりのエキスパートとしての誇りと責任を胸に、お客さまの期待を超えるデザインを生み出しながら、暮らしの夢や理想を具現化していきます。

当社ではこのほか、当社施工の各種物件（戸建・事業用・リフォーム）の中から、優秀な設計事例を選出して表彰する社内制度『アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』を毎年主宰しており、設計担当者のモチベーション向上と併せて、スキル・ノウハウの水平展開を図ることで、全社規模で設計職能のレベルアップを目指しています。

■ 『2024 年度エキスパートデザイナー』 認定概要

- 名 称 : 『2024 年度エキスパートデザイナー』認定
- 主 催 : パナソニック ホームズ株式会社 設計部
パナソニック リフォーム株式会社 建築技術部
- 選 考 日 程 : 【新築部門】
研修・一次選考 : 2023 年 9 月・12 月
認定アセスメント : 2025 年 2 月
【リフォーム部門】
研修・認定アセスメント : 2024 年 11 月
- 対 象 者 : 支社、協業会社、パナソニック リフォーム（株）に所属する社員において、
1 級建築士の資格を有する設計従事者のうち、設計スキル、経営貢献実績など
一定の要件を満たす者
- 認 定 者 : ① 新築部門
● パナソニック ホームズ大分株式会社 安部 将智
● パナソニック ホームズ株式会社 島田 一将
② リフォーム部門
● パナソニック リフォーム株式会社 安藤 浩
● パナソニック リフォーム株式会社 兼原 英司
- 認 定 要 件 : ① 新築部門
テクニカルスキルやヒューマンスキルの一定要件を満たし、所属部から推薦を受けた設計担当で専門の研修を受講した者。
受講後の一次選考通過者で、認定アセスメントにおいて自身の担当実例について、設計計画や提案プロセスに関するプレゼンテーションを実施した者。
② リフォーム部門
テクニカルスキルやヒューマンスキルの一定要件を満たした設計担当で、専門の研修を受講した者。
認定アセスメントとなる研修課題において、リフォーム計画に関するプレゼンテーションを実施した者。

■ 『2024 年度エキスパートデザイナー』 新築部門 設計事例

● パナソニック ホームズ大分株式会社 安部 将智

テーマ：心の調和をもたらす住まい



床にはオーク材を使用し、木のぬくもり感あふれるリビング・ダイニング・キッチン

自然豊かな場所でシンプルに暮らしたい、手触りや足触りのよい空間で暮らしたい、というオーナーさまのご要望を受け、自然との共生や木の魅力を活かした平屋の住まいを提案しました。

リビングの床材には、木目の豊かでドライな質感が特長のオーク材を採用。国産の無垢材を使用したソファを配置することで、空間に木のぬくもりと上質さを添えています。天井のダウンライトを控えめにし、生活家電や空調設備も目立たない位置に収めることで、木の素材本来の美しさを際立たせました。



1階ホールのカフェスペースは風や光、季節を感じる窓辺に設え



照明は、全体を均一に照らさず、調光が可能な器具を採用することで、落ち着いた空間を演出



植栽と共に、幻想的にライトアップされた外観

【プラン】周囲からの視線を遮りながらも、眺望を最大限に活かす設計としました。リビングには、視線が外に抜ける大開口を配置したほか、木漏れ日を楽しむカフェスペースも設けています。リビングと併設するテラスは床高を揃え、内と外を緩やかにつなげました。寝室や水回りは、リビング・ダイニング・キッチンの奥に配置し、パブリックとプライベートを明確に分離。自然に包まれながら、心静かに過ごせる住まいが完成しました。

● パナソニック ホームズ株式会社 島田 一将

テーマ：光を届け 家族を繋ぐ



螺旋階段を中心に、大きな吹き抜けがある
明るく開放的なリビング

螺旋階段のある暮らし

線路沿いの立地でありながら、視線や騒音を遮りつつ、明るく開放的な空間で暮らしたいというオーナーさまのご要望に応え、螺旋階段を中心に大きな吹き抜けを設けたリビングを提案しました。螺旋階段はリビングから2階の子供部屋へとつながり、家族の気配が感じられる設計としました。2階の窓から光がリビングに降り注ぎ、空間全体に明るさと開放感をもたらします。また、2階の高所に設けた正方形のフィックス窓や、和室の二重サッシは、周囲からの視線や騒音にも配慮。家族の存在を身近に感じながら、気兼ねなく過ごせる、明るく心地よい住まいが実現しました。



ナチュラルな木目柄の軒天井
やガレージシャッターを採用
したモダンな印象の外観



廊下向こうの窓から庭の緑
が見え、光が差し込む明るい
玄関



アーチ型の入り口を設けた
モダンな雰囲気のと室

【プラン】 玄関ドアの横には縦長の窓を設け、外からの光を取り入れた明るいアプローチとしました。収納を充実させたいオーナーさまのご要望に応え、玄関には床から天井までの収納を設置しています。1階リビングの螺旋階段を上がると、子供部屋をはじめ、和室や水回り、寝室へとつながります。また、螺旋階段との一体感を高めるため、各所に円形やアーチを感じさせる造作を取り入れ、空間に統一感や遊び心をプラス。家の中心にある螺旋階段が家族を繋ぎ、大きな吹き抜けや2階のフィックス窓から光が差し込む、明るく心地よい空間が実現しました。

◎ パナソニック ホームズ エキスパート デザイナーの詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/designer/>

※1: リフォーム部門では、一定要件を満たせば所属部推薦は不要としています。

※2: リフォーム部門の認定は2015年度から開始しています。

※3: 国土交通省「令和5年度 住宅市場動向調査 報告書」(2024年7月)

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001767858.pdf>

* 本件に関するお問い合わせ先 *

パナソニック ホームズ株式会社 宣伝・広報部 ブランド宣伝・広報課 潤随

TEL:080-8544-4376 / E-mail:kanzui.naho@panasonic-homes.com

HP: <https://homes.panasonic.com/company/news/release/>